

令和8年度（令和7年度実施）  
 島根県公立学校教員採用候補者「一般選考試験」の実施について

島根県教育委員会

1 実施方針

- (1) 近年の受験者減少・受験倍率低下に対応するため、試験日程の前倒しなどにより、適切な資質能力を有する受験者をより多く確保する。
- (2) 30～40歳代の中堅層の不足等を踏まえ、即戦力となる人材を確保する。
- (3) 地域に根ざした教育を推進する者やスポーツの分野で秀でた者を対象とした特別枠での選考を実施するとともに、日本語を学ぶ外国人への日本語教育の質を確保するための考慮事項を拡大するなど、多方面に優れた資質能力をもつ人材を確保する。

2 出願資格

昭和41年4月2日以降に生まれた者（令和8年4月1日現在で59歳まで）

3 募集人数

【一般枠】

募集校種・職種		教科等	募集人数	
小学校	全県	一般、数理、英語、特別支援教育担当	130名程度	150名程度 (R7:150名)
	石見・隠岐地域	一般、数理、英語	20名程度	
中学校	全県	国語	18～22名程度	130名程度 (全県) 107名程度 (石見・隠岐) 23名程度 (R7:110名)
	石見・隠岐地域	国語	18～22名程度	
	全県	社会	16～20名程度	
	石見・隠岐地域	社会	16～20名程度	
	全県	数学	18～22名程度	
	石見地域	数学	18～22名程度	
	全県	理科	18～22名程度	
	石見・隠岐地域	理科	18～22名程度	
	全県	英語	18～22名程度	
	石見・隠岐地域	英語	18～22名程度	
	全県	音楽	7～9名程度	
	石見・隠岐地域	音楽	7～9名程度	
	全県	美術	5～7名程度	
	石見地域	美術	5～7名程度	
	全県	保健体育	10～12名程度	
	石見地域	保健体育	10～12名程度	
全県	技術	3～5名程度		
石見地域	技術	3～5名程度		
全県	家庭	4～6名程度		
石見地域	家庭	4～6名程度		
全県	特別支援教育担当(全教科)	各教科の募集人数を含む		
養護教諭	全県	(小・中・高・特支に配置)	10名程度 (R7:10名)	
栄養教諭	全県	(小・中・特支に配置)	1名程度 (R7:2名)	
障がいのある方を対象とした選考	全校種・職種		3名程度 (R7:3名)	
募集校種・職種		教科等	募集人数	
高等学校	全県	国語	3～5名程度	40名程度 (全県) 40名程度 (隠岐) 若干名 (R7:40名)
	隠岐地域	国語	3～5名程度	
	全県	地理歴史及び公民	4～6名程度 (うち、地理及び公民2～3名程度)	
	隠岐地域	地理歴史及び公民	4～6名程度	
	全県	数学	2～4名程度	
	隠岐地域	数学	2～4名程度	
	全県	理科(物理・化学・生物)	4～6名程度	
	隠岐地域	理科(物理・化学・生物)	4～6名程度	
	全県	英語	2～4名程度	
	隠岐地域	英語	2～4名程度	
	全県	芸術(音楽・美術)	1～3名程度	
	隠岐地域	芸術(音楽・美術)	1～3名程度	
	全県	保健体育	2～4名程度	
	隠岐地域	保健体育	2～4名程度	
	全県	家庭	1～3名程度	
	隠岐地域	家庭	1～3名程度	
	全県	情報	1～3名程度	
	隠岐地域	情報	1～3名程度	
	全県	農業(園芸・土木・食品)	1～3名程度	
	全県	工業(電気・機械)	2～4名程度	
全県	商業	2～4名程度		
全県	水産(漁業・機関・製造)	2～4名程度		
特別体育専任	保健体育(対象競技:カヌー)		1名	
特別支援学校	全県	小学部	15名程度	25名程度 (R7:25名)
		中学部(技術)	10名程度	
		中学・高等部(全教科)		
		高等部(情報)		
合計			360名程度 (R7:340名)	

【特別枠】

募集区分	募集校種	募集人数	募集区分	募集校種・競技	募集人数
島根創生特別枠	小学校	20名程度 ※一般枠の募集人数を含む	オリンピック等対象のトップアスリート特別枠	小学校	若干名 ※一般枠の募集人数に含まない
	中学校(全教科)	15名程度 ※一般枠の募集人数を含む ※各教科の募集人数は1～2名程度		中学校(保健体育)	
	特別支援学校(小学部)	3名程度 ※一般枠の募集人数を含む		高等学校(保健体育)	
島根かみあり国スポ競技力向上枠	中学校・高等学校・特別支援学校の保健体育(募集競技) 体操競技、男子新体操、ハンドボール、水泳(飛込)	若干名 ※一般枠の募集人数に含まない		特別支援学校(小学部及び中・高等部の保健体育)	

#### 4 選考・採用の特色（前年度からの主な変更点など）

##### (1) 募集区分の新設、出願要件等の変更

###### ① 「島根創生特別枠」の対象者の拡大

島根への愛着と誇りを持ち、ふるさと島根に根ざした教育を推進することのできる教員を採用する。

※ 島根大学教育学部または島根県立大学人間文化学部の在籍者で、当該大学の学長から推薦を受けた者が対象（島根県公立学校教員となることを第一志望とする者）

※ 従前の島根県内高等学校等卒業者に加え、県外高等学校等卒業者も対象

###### ② 「第84回国民スポーツ大会（愛称：島根かみあり国スポ）競技力向上枠」の募集競技

※ 国際規模の競技会等に日本代表として出場した競技者またはその指導者、もしくは全国規模の競技会等において4位以上の成績を収めた競技者またはその指導者が対象

※ 対象区分は中学校・高等学校・特別支援学校の保健体育

※ 募集競技は、体操競技、男子新体操、ハンドボール、水泳（飛込）〔4種目〕

###### ③ 「オリンピック等対象のトップアスリート特別枠」の新設

※ オリンピック・パラリンピック・デフリンピックに日本代表選手として出場した経験のある競技者が対象（大会の開催年は問わない）

※ 対象区分は、小学校、中学校・高等学校の保健体育、特別支援学校（小学部及び中・高等部の保健体育）

※ 出願する校種・教科の普通免許状を有しない場合は、「特別免許状」による採用とし、文部科学省が実施する「入職前オンデマンド研修」の受講を必須とする。

##### (2) 受験上の特例措置

###### ① 他県の正規現職教員等及び県内外常勤講師等への特例

ア	島根県外の国公立学校に正規採用（任期付採用を除く）の教員として、令和8年3月末時点で1年以上（休職、育児休業等の期間を除く）勤務している者（現職） 〔対象区分〕 小学校、中学校、特別支援学校	第1次試験の全免除
イ	前年度の島根県教員採用試験（第2次試験）において「個人面接試験」の段階がAだった者	
ウ	前年度の島根県教員採用試験の「繰り上げ登載候補者」で名簿登載にならなかった者	
エ	前年度の島根県教員採用試験の第1次試験合格者（第2次試験受験対象者）のうち、次の要件をすべて満たす者 ・令和6年度に島根県内外の国公立学校に常勤の講師等としての勤務経験がある者 ・令和7年3月31日現在で、島根県内外の国公立学校に常勤の講師等として通算1年以上の勤務経験がある者	第1次試験の一部免除 （論述試験のみ実施） ＋ 第1次試験に加点
オ	石見・隠岐地域限定受験者のうち、次の要件をすべて満たす者 ・令和6年度に出願する地域の市町村立小・中学校に常勤の講師等としての勤務経験がある者 ・令和7年3月31日現在で、出願する地域の市町村立小・中学校で常勤の講師等として通算1年以上の勤務経験がある者 ・令和6年度の勤務校が所在する市町村教育委員会の教育長から推薦を受けた者 〔対象区分〕 小学校、中学校	
カ	過去に島根県内外の国公立学校で正規採用（任期付採用を除く）の教員として、3年以上（休職、育児休業等の期間を除く）勤務していた者（過去正規教員） 〔対象区分〕 小学校、中学校、特別支援学校	
キ	島根県外の国公立学校に正規採用（任期付採用を除く）の教員として、令和7年3月末時点で1年以上（休職、育児休業等の期間を除く）勤務している者（現職） 〔対象区分〕 高等学校、養護教諭、栄養教諭	第1次試験に加点
ク	次の要件をすべて満たす者 ・令和6年度に島根県内外の国公立学校に常勤・非常勤の講師等としての勤務経験がある者 ・令和7年3月31日現在で、島根県内外の国公立学校に常勤・非常勤の講師等として通算1年以上の勤務経験がある者 ※上記エの対象者を除く。加点の点数は常勤講師と非常勤講師で異なる。	
ケ	過去に島根県内外の国公立学校で正規採用（任期付採用を除く）の教員として、3年以上（休職、育児休業等の期間を除く）勤務していた者（過去正規教員） 〔対象区分〕 高等学校、養護教諭、栄養教諭	

② 選考にあたって考慮する事項（第1次試験への加点）の拡大

- ・ 大学（大学院を含む）を令和8年3月31日までに卒業（修了）見込である者のうち、島根県内の国公立高等学校（松江高専を含む）・特別支援学校高等部の卒業者 ※ 大学の学長（学部長等を含む）の推薦不要
- ・ 日本語教育能力を判定する試験（日本語教員試験）に合格後、実践研修を修了し、国家資格「登録日本語教員」として登録された者（対象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校受験者）
- ・ ポルトガル語または中国語での日常会話を理解し、口頭で表現できる程度の語学力を有している者（対象：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校受験者）

5 出願期間

令和7年2月10日（月）～3月31日（月） ※専用出願フォームによる出願

6 選考試験の内容・期日等

I 第1次試験

(1) 試験内容等

試験内容	期日	会場
専門教養・教職教養・論述試験	令和7年5月17日（土）	県内会場：くにびきメッセ 大阪会場：CIVI 北梅田研修センター 東京会場：都道府県会館 福岡会場：TKP 博多駅筑紫ロビジネスセンター

(2) 結果通知

令和7年6月4日（水）に全受験者にメールで通知。また、合格者の受験番号を午前9時に学校企画課ホームページに掲載

II 第2次試験

(1) 試験内容等

試験内容	期日	会場
・ 個人面接 ・ 実技試験 （一部の教科等で実施）	令和7年6月28日（土） ～7月11日（金）	県内会場：松江北高等学校（実技） くにびきメッセ他 大阪会場：新大阪丸ビル新館 東京会場：都道府県会館 ※ 大阪会場・東京会場は小学校及び特別支援学校受験者のみ

〔追試験〕期日：令和7年7月20日（日）

新型コロナウイルス感染や災害などやむを得ない事情により受験できなかった者が対象

(2) 面接方法

1回30分程度の面接を2回実施

※ 面接試験の中で「模擬授業等」と「場面指導」を実施

(3) 結果通知

令和7年8月6日（水）に全受験者にメールで通知。また、合格者（名簿登載者）の受験番号を午前9時に学校企画課ホームページに掲載

7 問い合わせ先

島根県教育庁学校企画課

〒690-8502 島根県松江市殿町1番地 電話：0852-60-0766

※ 「一般選考試験」実施要項は令和7年2月5日（水）より県内14か所で配布するほか、学校企画課ホームページからもダウンロード可能